

※下線部は課題に対する計画、**ゴシック太字**は新たに計画に追加した項目

生駒市病院事業計画（平成27年11月改定）		平成27年度 事業報告	平成28年度 中間報告	課題	平成29年度 生駒市立病院 事業計画書
診療科目	<p>14 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科</p> <p>上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとします。</p>	<p>14 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科（平成28年1月～） 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科（平成28年1月～） 麻酔科</p>	<p>15 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科（平成28年7月～）</p>	<p>○平成27年度実施状況調査 ・診療科目や専門外来を検討、標榜をしていくためには、市民ニーズ等の把握に努める必要がある。また、市立病院ならではの特色ある専門外来の院内標榜を打ち出して、利用者の増を図る必要がある。</p> <p>●平成28年度中間報告 ・診療科目や専門外来を検討、標榜をしていくためには、市民ニーズ等の把握に努める必要がある。また、市立病院ならではの特色ある専門外来の院内標榜を打ち出して、利用者の増を図る必要がある。</p>	<p>15 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科</p> <p>診察日・診察時間 診察日 月曜日～土曜日（祝日、年末年始（12/31～1/3）を除く） 診察時間 午前診察 9:00～12:00 夕方診察 17:00～19:00（土曜日除く） 受付時間 午前診察 8:00～12:00 夕方診察 16:30～19:00（土曜日除く）</p> <p>既存の診療科について、常勤医師の確保等による医療内容の充実を図ります。 また、<u>標榜診療科の追加標榜又は専門外来の開設については、市と連携して、市内の医療ニーズの把握に努めます。</u></p>
病床数	<p>病床数 210 床</p> <p>ICU 7 床 小児科 20 床 産婦人科 20 床 内科系 79 床 外科系 84 床</p>	<p>（平成28年3月31日） 実稼動可能病床数153床</p> <p>小児科 4床 産婦人科 18床 内科系 76床 外科系 48床 その他 7床 (HCU)</p>	<p>（平成28年9月30日） 実稼動可能病床数 146 床</p> <p>小児科 4 床 産婦人科 18 床 内科系 76 床 外科系 48 床</p>	<p>○平成27年度実施状況調査 ・小児科及び外科系の稼働病床数の増加に向けて、脳神経外科、整形外科の常勤医師確保の取組みを強化する必要がある。</p> <p>●平成28年度中間報告 ・本年は整形外科の常勤医が確保されたこともあり、外科系の入院患者数が増加傾向にあるが、さらなる外科系、小児科の稼働病床数の増加に向けて、脳神経外科、小児科の常勤医師確保の取組みの強化が必要である。</p>	<p>（平成 30 年 3 月 31 日） 実稼動可能病床数 210 床</p> <p>小児科 5 床 産婦人科 20 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 7 床</p> <p>病棟編成 4病棟、10対1看護基準 市民ニーズ等必要に応じて、随時開棟し、フルオープンを目指します。</p> <p><u>脳神経外科、整形外科の常勤医師の確保に取り組み、外科系の稼働病床数の増加を目指します。常勤医師による当直体制の確保に取り組み、HCUの稼働を目指します。</u></p>

生駒市病院事業計画（平成27年11月改定）	平成27年度 事業報告	平成28年度 中間報告	課題	平成29年度 生駒市立病院 事業計画書																																										
<p>人員体制</p> <p>●医療従事者の確保の方法について（小児科・産婦人科医師の確保計画）</p> <p>① 指定管理者のグループ医療機関との人事異動等による全面的協力体制を組みます。</p> <p>② 当病院勤務希望者を公募します。</p> <p>（救急に対応する医師の確保計画）</p> <p>① 開院当初に救急専門医を確保することは厳しいですが、離島・へき地・山間部等に勤務経験の豊富な医師が指定管理者のグループ医療機関には多く勤務しており、一次救急は問題なく対応可能です。</p> <p>② 救急部（ER）にて救急医を育成している指定管理者のグループ医療機関からの異動で救急に対応する医師の確保を行います。</p> <p>（看護師の募集方法や確保計画）</p> <p>① 看護部長・看護師長については指定管理者のグループに属する他の医療機関から転籍異動を行います。</p> <p>② 指定管理者に属するグループ医療機関に勤務する看護師のうち、生駒市出身者も含め、広く当病院への勤務希望者を募集します。</p> <p>③ 公募採用を行います。ただし、市内既存医療機関・施設からの引抜きはいたしません。</p>			<p>○平成27年度実施状況調査</p> <p>・特に常勤医師がいない整形外科、脳神経外科及び常勤医師が不足している産婦人科や小児科など診療科について優先的な医師の確保が必要。</p> <p>●平成28年度中間報告</p> <p>・常勤医師が計画に比して不足している診療科について、引き続き病院事業計画の実現を目指し、大学医局への医師派遣依頼等を継続的に行うなど、早期の病院事業計画の達成を図る必要がある。</p>	<p>○医療従事者の確保の方法について（医師の確保）</p> <p>特に常勤医師が不足している脳神経外科、産婦人科、小児科、整形外科等の診療科を中心に、グループ他病院からの人事異動の要請、勤務希望者の募集、大学等関係機関への継続した働きかけを行います。</p> <p>医師事務作業補助者を外来等へ配置し、医師の業務負担の軽減を図るなど、引き続き勤務環境の改善を行います。</p> <p>（看護師、医療スタッフ等の確保）</p> <p>引き続き学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行います。</p> <p>研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に継続して取り組みます。</p>																																										
<p>患者数</p>	<p>・1日平均患者数（達成率）</p> <p>入院 57.9人（40.7%）</p> <p>外来 79.7人（50.5%）</p>	<p>・1日平均患者数（達成率）</p> <p>入院 85.4人（86.7%）</p> <p>外来 112.2人（84.9%）</p>	<p>○平成27年度実施状況調査</p> <p>・市民や地域の医療機関へ、市立病院の医療に関する必要な情報をそれぞれ積極的に提供していく必要がある。</p> <p>●平成28年度中間報告</p> <p>・市民や地域の医療機関へ、市立病院の医療に関する必要な情報をそれぞれ積極的に提供していく必要がある。</p>	<p>1日平均患者数</p> <table border="1" data-bbox="1872 1115 2231 1530"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>95人</td><td>140人</td></tr> <tr><td>5月</td><td>95人</td><td>140人</td></tr> <tr><td>6月</td><td>93人</td><td>135人</td></tr> <tr><td>7月</td><td>95人</td><td>135人</td></tr> <tr><td>8月</td><td>105人</td><td>140人</td></tr> <tr><td>9月</td><td>105人</td><td>130人</td></tr> <tr><td>10月</td><td>115人</td><td>150人</td></tr> <tr><td>11月</td><td>130人</td><td>170人</td></tr> <tr><td>12月</td><td>135人</td><td>180人</td></tr> <tr><td>1月</td><td>140人</td><td>180人</td></tr> <tr><td>2月</td><td>140人</td><td>170人</td></tr> <tr><td>3月</td><td>140人</td><td>180人</td></tr> <tr><td>年間平均</td><td>115.7人</td><td>154.2人</td></tr> </tbody> </table> <p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組</p> <p>市民や地域の医療機関へ、市立病院の医療に関する必要な情報をそれぞれ積極的に提供することにより、入院・外来患者数の増加を目指します。</p> <p>（市民への周知の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等による広報活動の充実 ・医療講演会（自治会等各種団体への出張講座含む）の内容の充実 ・患者への相談窓口（来院・電話）の充実 <p>（地域の医療機関への周知の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数の増加 ・病診連携懇話会の開催 		入院	外来	4月	95人	140人	5月	95人	140人	6月	93人	135人	7月	95人	135人	8月	105人	140人	9月	105人	130人	10月	115人	150人	11月	130人	170人	12月	135人	180人	1月	140人	180人	2月	140人	170人	3月	140人	180人	年間平均	115.7人	154.2人
	入院	外来																																												
4月	95人	140人																																												
5月	95人	140人																																												
6月	93人	135人																																												
7月	95人	135人																																												
8月	105人	140人																																												
9月	105人	130人																																												
10月	115人	150人																																												
11月	130人	170人																																												
12月	135人	180人																																												
1月	140人	180人																																												
2月	140人	170人																																												
3月	140人	180人																																												
年間平均	115.7人	154.2人																																												

生駒市病院事業計画（平成27年11月改定）	平成27年度 事業報告	平成28年度 中間報告	課題	平成29年度 生駒市立病院 事業計画書																																
<p>病院事業の基本方針 新病院のコンセプト ① 質の高い医療の提供 生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。</p>	<p>・入院・外来患者アンケート調査実施（H28.2） 患者満足度（総合評価の評点） 入院 85.3点（有効件数39件） 外来 79.3点（有効件数346件）</p> <p>・ご意見箱の設置（H27.9） （ご意見に対する対応の例） ○デイルームに電子レンジ、給湯器設置 ○全館トイレにトイレクリーナー設置 ○東生駒駅に案内板設置 ○病院スタッフの待遇等に関するご意見等に関して迅速に指導、教育等の対応</p> <p>・科目別手術件数</p> <table border="1" data-bbox="655 699 1006 940"> <tr><td>内科</td><td>6件</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>2件</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>26件</td></tr> <tr><td>外科</td><td>149件</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>93件</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>31件</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>27件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>334件</td></tr> </table> <p>・分娩数 57件 県内 37件 （市内33件、市外4件） 県外 20件</p> <p>・大型医療機器等の導入実績 6/1～ CT MRI 7/1～ CAG</p>	内科	6件	消化器内科	2件	循環器内科	26件	外科	149件	形成外科	93件	腎臓泌尿器科	31件	産婦人科	27件	合計	334件	<p>・患者からの意見に対する対応例 ○地下駐車場の料金を見舞客は1時間まで無料化 ○地下駐車場東のエレベーター入口にエレベーター表示を設置</p> <p>○その他、ご意見の回覧と担当部署への周知、指導を実施</p> <p>・科目別手術件数</p> <table border="1" data-bbox="1065 699 1415 940"> <tr><td>内科</td><td>10件</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>30件</td></tr> <tr><td>外科</td><td>54件</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>65件</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>211件</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>26件</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>35件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>431件</td></tr> </table> <p>・分娩数 57件 県内 42件 （市内40件、市外2件） 県外 15件</p> <p>・大型医療機器等の導入実績 透析用RO装置</p>	内科	10件	循環器内科	30件	外科	54件	整形外科	65件	形成外科	211件	腎臓泌尿器科	26件	産婦人科	35件	合計	431件	<p>○平成27年度実施状況調査 ・アンケート調査の結果、満足度の評価が低くなっている項目については、関係部署、委託業者等と協議しながら改善していく必要がある。</p>	<p>基本方針 安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとってベストな治療・ケアを行います。 腹腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に積極的に取り組みます。 患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。</p> <p>○医療サービスについて ・手術件数（全体） 900件</p> <p>・分娩件数 120件</p> <p>・産科交流会 ※母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。</p> <p>・医療機器等の整備 必要性・採算性などを検討の上、高度医療機器の整備を行います。</p> <p>（導入予定機器） ・整形外科（脊椎）手術用アドバンステーブル ・脳神経外科手術用電子顕微鏡等</p> <p>○患者満足度の向上について ・入院・外来患者アンケート調査実施</p> <p>・ご意見箱の内容に対応 アンケート調査の結果、ご意見箱の意見及びそれに対する改善の取組について、ホームページで公表し、生駒市立病院管理運営協議会へ報告します。</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施</p>
内科	6件																																			
消化器内科	2件																																			
循環器内科	26件																																			
外科	149件																																			
形成外科	93件																																			
腎臓泌尿器科	31件																																			
産婦人科	27件																																			
合計	334件																																			
内科	10件																																			
循環器内科	30件																																			
外科	54件																																			
整形外科	65件																																			
形成外科	211件																																			
腎臓泌尿器科	26件																																			
産婦人科	35件																																			
合計	431件																																			

生駒市病院事業計画（平成27年11月改定）	平成27年度 事業報告	平成28年度 中間報告	課題	平成29年度 生駒市立病院 事業計画書
<p>医療における安全管理に対する取組</p> <p>●安全管理マニュアルの策定について 各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。</p> <p>●医療事故に対する対応について 発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM（メディカルリスクマネジメント）委員会で分析したうえで、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行ないます。</p> <p>●院内感染対策について 感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的に開催し、感染症発生の監視、院内感染の監視、職員の管理（予防接種等）、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行ないます。</p>	<p>・医療安全管理規程・医療安全管理委員会規程の策定・運用（6/1～）</p> <p>・医療安全管理委員会（毎月1回開催） 開催日 6/4、7/15、8/17、9/16、10/19、11/16、12/21、1/18、2/15、3/16</p> <p>・医療安全勉強会（年2回開催） ・12/21 76人参加 ・3/23 71人参加</p> <p>・医療安全カンファレンス（毎週1回開催） ・8/17～</p> <p>・医療安全ラウンド（毎月1回開催） ・2/15～（医療安全管理委員会開催日に開催）</p> <p>・院内感染対策委員会（毎月1回開催） 開催日 6/8、7/6、7/14、8/10、9/14、10/13、11/9、12/14、1/12、2/8、3/14</p> <p>ICT合同カンファレンス（偶数月参加）</p> <p>ICTラウンド（毎週1回開催） ・8/6～</p> <p>感染勉強会 3/31 75人参加</p>	<p>・医療安全管理規程・医療安全管理委員会規程の改定状況 —（6/1～）</p> <p>・医療安全管理委員会（毎月1回開催） 開催日 5/16、6/20、7/25、8/15、9/26</p> <p>・医療安全カンファレンス（毎週1回開催）</p> <p>・医療安全ラウンド（毎週1回開催） 開催回数 22回</p> <p>・院内感染対策委員会（毎月1回開催） 開催日 4/11・5/9・6/13 7/11・8/24・9/12</p> <p>ICT合同カンファレンス（毎月1回開催）</p> <p>ICTラウンド（毎週1回開催）</p> <p>感染勉強会 5/19 84人参加</p>	<p>●平成28年度中間報告</p> <p>・医療安全対策の具体的取組について情報発信をすることも検討する必要がある。</p>	<p>○医療における安全管理について（医療安全管理体制について） 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。また、<u>医療安全に関する市民への情報公開の方法等についても検討します。</u></p> <p>・医療安全管理委員会（毎月1回開催） ・医療安全カンファレンス（毎週1回開催） ・医療安全ラウンド（毎月1回開催） ・医療安全勉強会</p> <p>（医療事故に対する対応について） 医療事故発生時は、引き続き次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の安全確保と救命処置を最優先します。 ・病院内における事故等の報告を速やかに行います。 ・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。 ・重大な医療事故の場合は、保健所、警察署等へ速やかに報告・届出を行います。 ・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。 <p>（院内感染対策について） 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みます。</p> <p>・院内感染対策委員会（毎月1回開催） ・ICT合同カンファレンス（偶数月参加） ・ICTラウンド（毎週1回開催） ・感染勉強会</p>

生駒市病院事業計画（平成27年11月改定）	平成27年度 事業報告	平成28年度 中間報告	課題	平成29年度 生駒市立病院 事業計画書
<p>病院事業の基本方針 新病院のコンセプト ② 地域完結型の医療体制構築への寄与 地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方支援と後方支援を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。</p> <p>地域の支援に対する取組 ●在宅支援機能の充実について 地域連携パスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行ないます。また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪事に対応する処置、入院加療用として5床を確保します。</p> <p>●開放型病床の設置について 地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。</p> <p>●地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 次の取組を検討し、段階的に実施します。 ・診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施 ・院内外の医療従事者に対するTCLS又はAHABLS、AHAACLSトレーニング（ACLSに相当する指定管理者のプログラム）の継続的实施（2年に1回程度） ・医療機関、救急隊との定期勉強会の実施（年2回程度）</p>	<p>・地域連携パスの導入未実施</p> <p>・開放型病床の設置未実施</p> <p>・医療教育プログラム ALSO（周産期救急教育コース）を実施</p> <p>・合同症例検討会 病診連携談話会にて、H27年8月、H28年2月に実施</p>	<p>・地域連携パスの導入未実施</p> <p>・開放型病床の設置未実施</p> <p>・医療教育プログラム （10月実施予定） 新生児蘇生法講習会専門（A）コース （11月実施予定） ALSO（周産期救急教育コース）</p>	<p>○平成27年度実施状況調査 ・増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、在宅患者の増悪時の病床の確保等在宅支援の取組も推進していく必要がある。</p> <p>・地域連携パス、開放型病床については、ニーズ把握の時期や方法等について協議・検討する必要がある。</p> <p>●平成28年度中間報告 ・地域連携パス、開放型病床については、ニーズ把握の時期や方法等について協議・検討する必要がある。</p> <p>○平成27年度実施状況調査 ・今後はさらに病診連携談話会の出席者を増やしていく必要がある。</p> <p>●平成28年度中間報告 ・医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するためには、医療レベル向上のための各種症例検討会、講演会、研修会を多数企画し、積極的に広報する必要がある。</p>	<p>基本方針 地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献します。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、<u>医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。</u> <u>地域連携パス、退院支援チームの取組みについては、奈良県地域医療構想の方向性や生駒市医療介護連携ネットワーク協議会の動向等を勘案しながら、グループ病院の事例等を参考に、地域の医療機関や医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</u></p> <p>○開放型病床の設置について <u>開放型病床については、グループ病院の事例等を参考に、地域の医療機関や医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</u></p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講演会、研修会、交流会を実施します。また、<u>医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、医療連携登録医をはじめ、地域の病院、診療所へ往訪し、案内するなどPRや周知を強化します。</u></p> <p>・医療教育プログラム ・病診連携懇話会(再掲)</p>

生駒市病院事業計画（平成27年11月改定）	平成27年度 事業報告	平成28年度 中間報告	課題	平成29年度 生駒市立病院 事業計画書
<p>●<u>周辺の他の医療機関との連携について</u> 新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放病床の取組を進めます。 また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。 また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。</p> <p>●<u>地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について</u> 院内に地域医療連携室を設置し、専任職員（看護師・MSW・介護職員等で構成）を配置します。 この専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズに応え、相互の紹介をはじめ診療情報等の提供を行ないます。 また、今後、さらなる地域医療連携を推進するため、医師会等とも十分に協議しながら地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築に向けての検討を行います。</p>	<p>・医療機器のオープン利用 MRI 34件 CT 41件 内視鏡 4件 エコー 4件</p> <p>・医療連携登録医 47施設・58名 ※内、市内クリニックは 21施設・25名 （全市内CLの24%）</p> <p>・協力医療機関連携施設 15施設</p> <p>・紹介率 31.6%</p> <p>・地域（市内）医療機関の市立病院利用率 29.5%</p>	<p>・医療機器のオープン利用 MRI 124件 （全利用件数 765件） CT 33件 （全利用件数 2044件） 内視鏡 0件 （全利用件数 567件） エコー 5件 （全利用件数 1649件）</p> <p>・医療連携登録医 51施設・62名（9月末現在） 内、市内クリニック 21施設 25名 （全市内クリニックの 24%） ※H 28. 4～ 4施設 4名（市外）の増</p> <p>・協力医療機関連携施設 38施設（9月末現在） ※H 28. 4～23施設の増</p> <p>・紹介率 41.2% ・逆紹介率 14.2%</p> <p>・地域（市内）医療機関の市立病院利用率 36.9%</p>	<p>○平成27年度実施状況調査 ・地域医療機関との病病・病診連携の推進、紹介患者の増加のためには、医師会との連携は不可欠であることから、引き続き、入会審査に対応していく必要がある。 ・（医療機器のオープン利用）さらなる利用増を図るため、利用のメリットや利用しやすさを検討していく必要がある。 ・医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数を更に増やしていく必要がある。</p> <p>●平成28年度中間報告 ・地域医療機関との病病・病診連携の推進、紹介患者の増加のためには、医師会との連携は不可欠であり、引き続き入会審査に対応していく。 ・（医療機器のオープン利用）更なる利用増を図るため、利用のメリットや利用しやすさを検討していく必要がある。 ・病院事業計画に掲げる地域医療連携の推進のためには、登録いただいた医療連携登録医との連携を密にとるとともに、登録することによるメリットを明らかにして、新規登録への働きかけを強化する必要がある。 ・地域の診療所から紹介を受けた患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を必要に応じて地域の診療所に逆紹介していく必要がある。</p> <p>○平成27年度実施状況調査 ・地域医療機関との連携強化に向けた地域医療連携室の体制強化 ・市立病院の医療内容を地域医療機関に知っていただくための効果的なPRなどの取組を検討する必要がある。</p> <p>●平成28年度中間報告 ・市立病院の医療内容を地域医療機関に知っていただくための効果的なPRなどの取組を検討する必要がある。</p>	<p>○<u>周辺の他の医療機関との連携について</u> <u>医師会への入会を目指し、引き続き医療機能等の情報提供等、入会審査に対応していきます。また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用件数の増を目指し、予約手続き等の簡略化を検討します。</u></p> <p>・オープン利用件数（年間） MRI 260件 CT 80件</p> <p><u>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の拡大を目指し、登録のメリットをPRします。</u> （平成30年3月31日時点）</p> <p>・医療連携登録医 60施設 ・協力医療機関連携施設 60施設</p> <p><u>地域の医療機関との連携・協力体制を重視し、紹介された患者の受入れに努め、病状の安定した患者は、積極的に「地域のかかりつけ医」へ逆紹介します。</u></p> <p>・紹介率 45% ・逆紹介率 20%</p> <p>○<u>地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について</u> <u>地域医療連携室の専任職員（看護師1名・メディカルソーシャルワーカー2名・事務職員2名）による、円滑な紹介・逆紹介体制を充実します。</u> <u>専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行ないます。</u> 地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築については、奈良県や生駒市医療介護連携ネットワーク協議会の動向等を勘案し検討します。</p>

生駒市病院事業計画（平成27年11月改定）	平成27年度 事業報告	平成28年度 中間報告	課題	平成29年度 生駒市立病院 事業計画書														
<p>病院事業の基本方針 新病院のコンセプト ③ 救急医療の充実 本地域における二次救急医療に対応できる中核病院の必要性から、内科系、外科系、小児科系の二次救急医療の充実を図る。</p> <p>●救急医療体制について 市内の二次救急体制で中心的な役割を果たすことを目指し、内科系二次・外科系一次二次輪番体制へ参加するとともに、北和小児科二次輪番体制等への参加や休日夜間応急診療所のバックアップを行います。さらに、救急告示病院として、市消防本部救急隊との連携連絡を緊密にし、かつ当直体制を開示し、24時間体制での救急受入れをします。</p> <p>（具体的な体制）</p> <table border="1" data-bbox="112 730 620 1325"> <thead> <tr> <th>診療分野</th> <th>稼働内容</th> <th>稼働回数 (1月当たり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科系・外科系</td> <td>市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加</td> <td>内科系 5回 外科系 5回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小児科</td> <td>奈良県北和小児科二次輪番体制への参加</td> <td>休日 2回 夜間 2回</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ（休日夜間の一次救急）</td> <td>10回 (※1)</td> </tr> <tr> <td>産婦人科(※2)</td> <td>奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加</td> <td>10回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 現在、休日夜間応急診療所（メディカルセンター）で小児科医師が当直している火・木・土・日（うち火・木は22:00～24:00の当直）以外の曜日を小児一次救急担当日とし、開院当初は、当該担当日の月・水・金は20時から24時までには総合診療医を配置します。 ただし、開院後3年を目途に小児科医師を1名増員することで小児救急の充実を図ります。</p> <p>(※2) 産婦人科については、一次・二次診療を行います。産婦人科緊急手術、分娩、ハイリスク分娩に対応します。但し、未熟児分娩が予想される場合はNICUを有する北和三次救急施設と緊密な連携を取り迅速な対応をします。</p>	診療分野	稼働内容	稼働回数 (1月当たり)	内科系・外科系	市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5回 外科系 5回	小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2回 夜間 2回	休日夜間応急診療所のバックアップ（休日夜間の一次救急）	10回 (※1)	産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10回	<ul style="list-style-type: none"> 救急要請件数 1,807件 救急受入件数 1,486件 (市内671件、市外815件) 救急応需率 82.2% 消防本部救急隊との意見交換会 4回実施 救急告示病院の認定 (H27年7月16日) 市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加 平成27年度の参加は実現せず、当該輪番病院のバックアップの役割を果たせるよう取り組んだ。 北和小児科二次輪番体制への参加 平成27年度は参加を見送った。 (本院の小児科常勤医師1名のみの診療体制であること及び既存の輪番病院で当番日を充足できる状況の変化もあったため) 北和産婦人科一次救急医療体制への参加 平成27年度は参加を見送った。 (既存の輪番診療所・病院で当番日を充足できる状況の変化があったため) 分娩数 57件 (再掲) 県内37件(市内33件、市外4件) 県外20件 	<ul style="list-style-type: none"> 救急要請件数 1,014件 救急受入件数 880件 (市内 449件、市外 431件) 救急応需率 86.8% 消防本部救急隊との意見交換会 1回実施 7/25 市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加 平成28年度の参加は実現せず、当該輪番病院のバックアップの役割を果たせるよう取り組んでいる。 北和小児科二次輪番体制への参加 平成28年度は参加を見送った。 (本院の小児科常勤医師1名のみの診療体制であること及び既存の輪番病院で当番日を充足できる状況の変化もあったため) 北和産婦人科一次救急医療体制への参加 平成28年度は参加を見送った。 (既存の輪番診療所・病院で当番日を充足できる状況の変化があったため) 	<p>○平成27年度実施状況調査 ・当直、オンコール体制に参加できる整形外科、脳神経外科の常勤医師の確保が必要である。</p> <p>・市内輪番体制における位置づけが定まっていないため、救急受入れの実績を提示する等、輪番体制への参加に向けて関係機関と協議を行う必要がある。</p> <p>●平成28年度中間報告 ・当直、オンコール体制に参加できる脳神経外科の常勤医師の確保が必要である。</p> <p>・市内輪番体制における位置づけが定まっていないため、救急受入の実績を提示する等、輪番体制への参加に向けて引き続き関係機関と協議を行う必要がある。</p>	<p>基本方針 「断らない」という姿勢のもと、24時間365日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急受入件数 2,000件 救急応需率 90.0% 消防本部救急隊との意見交換会 市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、輪番病院のバックアップの役割を果たします。 北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関と協議等を行うとともに、小児科常勤医師の確保に努めます。 北和産婦人科一次救急医療体制への将来的な参加に向けて、奈良県との情報交換をしながら、産婦人科常勤医師の確保に努めます。
診療分野	稼働内容	稼働回数 (1月当たり)																
内科系・外科系	市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5回 外科系 5回																
小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2回 夜間 2回																
	休日夜間応急診療所のバックアップ（休日夜間の一次救急）	10回 (※1)																
産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10回																

生駒市病院事業計画（平成27年11月改定）	平成27年度 事業報告	平成28年度 中間報告	課題	平成29年度 生駒市立病院 事業計画書																														
<p>●救急に対する人員体制について 医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとりま す。</p> <p>（具体的な体制）</p> <table border="1" data-bbox="112 373 617 909"> <thead> <tr> <th colspan="2">人員体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常時</td> <td>内科系・外科系医師各1名、検査技師・放射線技師・薬剤師各1名の当直体制</td> </tr> <tr> <td>北和小児科二次輪番日</td> <td>通常時当直体制＋小児科医師1名の当直</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ（小児科）担当日</td> <td>通常時当直体制＋総合診療医1名を20時～24時の間で配置</td> </tr> <tr> <td>北和産婦人科一次救急当番日</td> <td>通常時当直体制＋産婦人科医1名の当直</td> </tr> </tbody> </table>	人員体制		通常時	内科系・外科系医師各1名、検査技師・放射線技師・薬剤師各1名の当直体制	北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師1名の当直	休日夜間応急診療所のバックアップ（小児科）担当日	通常時当直体制＋総合診療医1名を20時～24時の間で配置	北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医1名の当直	<p>・人員体制の整備 救急受入体制として、医師、検査技師、放射線技師、薬剤師の当直等患者数に応じて必要な人員体制を整備した。</p> <table border="1" data-bbox="635 310 1026 1325"> <thead> <tr> <th colspan="2">人員体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常時</td> <td>医師1名ないし2名の当直体制をとり、初期診療（プライマリ・ケア）を行い、症状等により必要に応じて、全科オンコール体制による専門医による専門的処置を施せる体制を敷いている。外来看護師2・3名、放射線技師、検査技師、事務職員各1名。なお、薬剤師は、平日夜間週2回、土日祝1名当直。</td> </tr> <tr> <td>北和小児科二次輪番日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ（小児科）担当日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>北和産婦人科一次救急当番日</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	人員体制		通常時	医師1名ないし2名の当直体制をとり、初期診療（プライマリ・ケア）を行い、症状等により必要に応じて、全科オンコール体制による専門医による専門的処置を施せる体制を敷いている。外来看護師2・3名、放射線技師、検査技師、事務職員各1名。なお、薬剤師は、平日夜間週2回、土日祝1名当直。	北和小児科二次輪番日	—	休日夜間応急診療所のバックアップ（小児科）担当日	—	北和産婦人科一次救急当番日	—	<p>・人員体制の整備 救急受入体制として、医師、検査技師、放射線技師、薬剤師の当直等患者数に応じて必要な人員体制を整備した。</p> <table border="1" data-bbox="1044 310 1436 1266"> <thead> <tr> <th colspan="2">人員体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常時</td> <td>医師1名ないし2名の当直体制をとり、初期診療（プライマリ・ケア）を行い、症状等により必要に応じて、全科オンコール体制による専門医による専門的処置を施せる体制を敷いている。外来看護師2・3名、放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員各1名当直。</td> </tr> <tr> <td>北和小児科二次輪番日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ（小児科）担当日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>北和産婦人科一次救急当番日</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	人員体制		通常時	医師1名ないし2名の当直体制をとり、初期診療（プライマリ・ケア）を行い、症状等により必要に応じて、全科オンコール体制による専門医による専門的処置を施せる体制を敷いている。外来看護師2・3名、放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員各1名当直。	北和小児科二次輪番日	—	休日夜間応急診療所のバックアップ（小児科）担当日	—	北和産婦人科一次救急当番日	—	<p>○平成27年度実施状況調査 ・今後の救急患者のニーズを勘案しながら、救急医療に必要な脳神経外科、整形外科の外科系の常勤医師を確保することで、病院事業計画に掲げる人員体制の整備が求められている。</p> <p>●平成28年度中間報告 ・今後の救急患者のニーズを勘案しながら、救急医療に必要な脳神経外科等の外科系の常勤医師を確保することで、病院事業計画に掲げる人員体制の整備が求められている。</p>	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。特に脳神経外科の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。</p> <p>（救急受入体制）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師 1名ないし2名の当直 専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2・3名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各1名の当直
人員体制																																		
通常時	内科系・外科系医師各1名、検査技師・放射線技師・薬剤師各1名の当直体制																																	
北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師1名の当直																																	
休日夜間応急診療所のバックアップ（小児科）担当日	通常時当直体制＋総合診療医1名を20時～24時の間で配置																																	
北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医1名の当直																																	
人員体制																																		
通常時	医師1名ないし2名の当直体制をとり、初期診療（プライマリ・ケア）を行い、症状等により必要に応じて、全科オンコール体制による専門医による専門的処置を施せる体制を敷いている。外来看護師2・3名、放射線技師、検査技師、事務職員各1名。なお、薬剤師は、平日夜間週2回、土日祝1名当直。																																	
北和小児科二次輪番日	—																																	
休日夜間応急診療所のバックアップ（小児科）担当日	—																																	
北和産婦人科一次救急当番日	—																																	
人員体制																																		
通常時	医師1名ないし2名の当直体制をとり、初期診療（プライマリ・ケア）を行い、症状等により必要に応じて、全科オンコール体制による専門医による専門的処置を施せる体制を敷いている。外来看護師2・3名、放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員各1名当直。																																	
北和小児科二次輪番日	—																																	
休日夜間応急診療所のバックアップ（小児科）担当日	—																																	
北和産婦人科一次救急当番日	—																																	

生駒市病院事業計画（平成27年11月改定）		平成27年度 事業報告	平成28年度 中間報告	課題	平成29年度 生駒市立病院 事業計画書
●救急についての診療科毎の対応レベルについて		<p>休日、夜間体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療対応レベルは、病院事業計画に明記している諸検査（CT、MRI、X線、血液等）及び緊急入院に対応可能。さらに、CAGによる心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能。腎不全も専門医により対応可能。ただし、骨折、くも膜下出血などについては、常勤の整形外科医、脳神経外科医が確保できていないことから対応は不可。 ・産婦人科は、未熟児出産を伴う早産には対応可。ハイリスク分娩は県総合医療センターとの連携が可能。 	<p>休日、夜間体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療対応レベルは、病院事業計画に明記している諸検査（CT、MRI、X線、血液等）及び緊急入院に対応可能。さらに、CAGによる心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能。腎不全も専門医により対応可能。ただし、くも膜下出血などについては、常勤の脳神経外科医が確保できていないことから対応は不可。 ・産婦人科は、未熟児出産を伴う早産には対応可。ハイリスク分娩は県総合医療センターとの連携体制がとれている。（実績あり） 	<p>○平成27年度実施状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨折や脳梗塞、くも膜下出血などの救急医療に必要な脳神経外科、整形外科の常勤医師の確保が求められている。 <p>●平成28年度中間報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳梗塞、くも膜下出血などの救急医療に必要な脳神経外科の常勤医師の確保が求められている。 	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて</p> <p>休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAGによる心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能な体制を充実します。</p> <p>産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。</p>
診療科	対応レベル				
内科 （二次輪番）	諸検査（CT・MRI・X線・血液等）及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可（例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能）				
外科・整形外科・脳神経外科 （二次輪番）	諸検査（CT・MRI・X線・血液等）及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可（例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能）				
小児科 （二次輪番）	諸検査（CT・MRI・X線・血液等）及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可				
産婦人科 （二次輪番）	諸検査（CT・MRI・X線・血液等）及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可（未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可）				
<p>病院事業の基本方針</p> <p>新病院のコンセプト</p> <p>④ 小児医療の充実</p> <p>本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・人員体制 医師 常勤1名、非常勤5名（常勤換算1.4名） ・小児科病床 稼働病床数 4床 ・休日夜間の一次・二次救急の対応 夜間時間帯については、原則として常勤医師のオンコール体制で取り組んだ。 ・北和小児科二次輪番体制への参加 本院の小児科常勤医師1名のみの診療体制及び既存の輪番病院で当番日を充足できる状況の変化も相俟って、平成27年度は参加を見送った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員体制 医師 常勤 1名、非常勤 5名（常勤換算 1.4名） ・小児科病床 稼働病床数 4床 ・休日夜間の一次・二次救急の対応 夜間時間帯については、原則として常勤医師のオンコール体制で取り組んだ。 ・北和小児科二次輪番体制への参加（再掲） 本院の小児科常勤医師1名のみの診療体制及び既存の輪番病院で当番日を充足できる状況の変化も相俟って、平成28年度も参加を見送った。 	<p>○平成27年度実施状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者の受入れ増を目指すには、さらなる常勤医師の確保が必要であり、病院事業計画の実現を目指し医師確保の取組を進める必要がある。 <p>●平成28年度中間報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急対応、入院患者の受入れには、さらなる常勤医師の確保が必要である。 	<p>基本方針</p> <p>小児の救急対応、入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備を行います。</p> <p>○小児医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の人員体制は、常勤医師の確保により、常勤医師2名体制を目指します。 ・稼働病床数は、4床から個室1床を増やし、5床とします。 ・北和小児科二次輪番体制への参加を目指します。

生駒市病院事業計画（平成27年11月改定）	平成27年度 事業報告	平成28年度 中間報告	課題	平成29年度 生駒市立病院 事業計画書																																				
<p>病院事業の基本方針 新病院のコンセプト ⑤ 災害時医療の確保 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急用医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策マニュアル案の策定 策定時期 H28. 3. 31 ・奈良県広域災害救急医療情報システムへの加盟 加盟時期 H28. 3. 4 ・消防防災訓練 実施時期 5月29日 開院前消防訓練 (市消防本部の協力の下、初期消火訓練・避難誘導訓練の実施) ・災害用備蓄品の配置 地下備蓄倉庫に、エアーテント、投光機、ストレッチャー、簡易ベッド、ブランケット、発電機、無線機、コードリール、食糧(白米・アルファ米、サバイバルフーズ、保存水)等を備蓄 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策マニュアル案の精査 ・消防防災訓練 6/9 生駒市消防署との合同訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・熊本地震へのTMAT隊としての市立病院スタッフの派遣 4/17～20 (救急科医師、薬剤師、事務長、事務職員の4名) 	<p>○平成27年度実施状況調査 ・災害対策マニュアル案に沿って現場スタッフによる実地検証を行い、より実効性が発揮できるようなマニュアルとして完成させる必要がある。</p> <p>●平成28年度中間報告 ・災害対策マニュアル案に沿って現場スタッフによる実地検証を行い、より実効性が発揮できるようなマニュアルとして完成させる必要がある。</p>	<p>基本方針 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。</p> <p>○災害時医療体制の確立について 生駒市立病院災害対策マニュアルに沿って現場スタッフによる実地訓練を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練) 																																				
<p>病院事業の基本方針 新病院のコンセプト ⑥ 予防医療の啓発 市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど、市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。</p> <p>●疾病予防機能の強化について 疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定例的に開催します。(講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等病院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。) また、市民健診や予防接種について、医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。</p>	<p>医療講演会 月3～4回実施 30講座 参加者 2,203名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診実績 <table border="1" data-bbox="647 1024 1015 1297"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス健診</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>一般健診</td> <td>237</td> </tr> <tr> <td>人間ドック・脳ドック</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>市職員健診</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td>その他(団体健診等)</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,333</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者インフルエンザ予防接種 自己負担金免除対象者 81名 	名称	件数	大腸がん検診	12	肝炎ウイルス健診	1	特定健診	214	一般健診	237	人間ドック・脳ドック	87	市職員健診	750	その他(団体健診等)	32	合計	1,333	<ul style="list-style-type: none"> ・医療講演会 月4回実施 23講座 参加者 1,065名 ・健診実績 <table border="1" data-bbox="1056 1024 1424 1297"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス健診</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>368</td> </tr> <tr> <td>一般健診</td> <td>179</td> </tr> <tr> <td>人間ドック・脳ドック</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>市職員健診</td> <td>848</td> </tr> <tr> <td>その他(団体健診等)</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,647</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者インフルエンザ予防接種 自己負担金免除対象者 一名 	名称	件数	大腸がん検診	38	肝炎ウイルス健診	5	特定健診	368	一般健診	179	人間ドック・脳ドック	165	市職員健診	848	その他(団体健診等)	44	合計	1,647	<p>○平成27年度実施状況調査 ・認知症やうつ病など、市民の要望が多いものの市立病院スタッフで対応できない分野についての市民への予防医療の啓発として、市立病院7階交流センターを地域の医療従事者に貸し出し、研修会や講演会の機会を提供するなどの取組みが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未実施の健診等については、実施体制の整備と共に関係団体等と協議を行い、適宜実施していくことが必要である。 <p>●平成28年度中間報告 ・認知症やうつ病など、市民の要望が多いものの市立病院スタッフで対応できない分野についての市民への予防医療の啓発として、市立病院7階交流センターを地域の医療従事者に貸し出し、研修会や講演会の機会を提供するなどの取組みが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未実施の健診等については、実施体制の整備と共に関係団体等と協議を行い、適宜実施していくことが必要である。 	<p>基本方針 市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。 また、市民健診や予防接種については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、適宜拡充していきます。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民への予防医療の啓発として、認知症やうつ病、発達障害など、市民の要望が多いものの市立病院スタッフで対応できない分野について、市と共催で、講演会等を開催します。 胃がん、乳がん、子宮頸がん検診など未実施の健診については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、実施を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療講演会(自治会等各種団体への出張講座含む) 月4回程度実施 ・市民健診 大腸がん検診 110件 肝炎ウイルス検診 25件 特定健診 1,000件 一般健診 550件 人間ドック・脳ドック 460件 その他団体健診等 1,000件 ・高齢者インフルエンザ予防接種 自己負担金免除対象者 250件
名称	件数																																							
大腸がん検診	12																																							
肝炎ウイルス健診	1																																							
特定健診	214																																							
一般健診	237																																							
人間ドック・脳ドック	87																																							
市職員健診	750																																							
その他(団体健診等)	32																																							
合計	1,333																																							
名称	件数																																							
大腸がん検診	38																																							
肝炎ウイルス健診	5																																							
特定健診	368																																							
一般健診	179																																							
人間ドック・脳ドック	165																																							
市職員健診	848																																							
その他(団体健診等)	44																																							
合計	1,647																																							

生駒市病院事業計画（平成27年11月改定）	平成27年度 事業報告	平成28年度 中間報告	課題	平成29年度 生駒市立病院 事業計画書
病院事業の基本方針 新病院のコンセプト ⑦ 財政的に健全な病院経営 新病院の運営形態については、「指定管理者方式」を採用することで、医療機関が有する経営ノウハウを活用し経営の効率化を図り、財政的に健全な病院経営を行う。				
病院事業の基本方針 新病院のコンセプト ⑧ 市民参加による運営 条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> 市立病院管理運営協議会開催 2回開催（9/7、 2/24） （再掲） 入院・外来患者アンケート調査実施（H28. 2） 患者満足度（総合評価の評点） 入院 85.3点（有効件数39件） 外来 79.3点（有効件数346件） （再掲） ご意見箱の設置（H27. 9） （ご意見に対する対応の例） ○デイルームに電子レンジ、給湯器設置 ○全館トイレにトイレクリーナー設置 ○東生駒駅に案内板設置 ○病院スタッフの待遇等に関するご意見等に関して迅速に指導、教育等の対応 市民交流事業 サマーフェスタ 8/1 医療講演会 409名 体験コーナー 64名 夏休み親子見学会 8/22 95名 市民からの寄贈絵画の常設展示5点 	<ul style="list-style-type: none"> 市立病院管理運営協議会開催 1回開催 6/23 （再掲） 患者からの意見に対する対応例 ○地下駐車場の料金を見舞客は1時間まで無料化 ○地下駐車場東のエレベーター入口にエレベーター表示を実施 ○その他、ご意見の回覧と担当部署への周知、指導を実施 市民交流事業 ムジークフェストなら2016 市立病院ロビーコンサート 6/16 約 300人 サマーフェスタ&親子見学会 8/20 82人 市民による4階光庭の園芸ボランティア活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○平成27年度実施状況調査 アンケート調査の結果、満足度の評価が低くなっている項目については、関係部署、委託業者等と協議しながら改善していく必要がある。（再掲） ●平成28年度中間報告 （サマーフェスタ&親子見学会）市立病院を多くの市民に知っていただく機会であり、より多数の市民に参加していただけるよう、広報を強化することが必要である。 	基本方針 市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。 <ul style="list-style-type: none"> ○市民の意見の反映の仕組み 入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見及び改善の取組みについて、院内掲示、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告など広く市民等に周知します。 ・市立病院管理運営協議会 ・入院・外来患者アンケート調査（再掲） ・ご意見箱の内容に対する対応（再掲） ○市民交流事業について 市立病院ロビーコンサートなど市民交流事業の開催について、広く広報します。 ・地域医療連携フェスタ ・市立病院ロビーコンサート
病院事業の基本方針 新病院のコンセプト ⑨ 環境に配慮した運営 新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムであるISO（国際標準化機構）14000シリーズの認証取得を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組 ① 警備員による夜間巡回時に、電子機器の電源切り忘れ等が発見された場合は、翌朝メールで全員にその内容を配信した。それによって電源の切り忘れが減った。 ② 供覧はすべて院内LANを活用した。 ③ 通勤に自動車を使用している職員は、197名のうち63名で、全体の32%であった。 ④ 電気のスイッチ付近に「最後に出る人はエアコン・電気を切ってください。」といった貼り紙をし、啓発を行った。 	市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組 <ul style="list-style-type: none"> ・H28. 7～8 院内の電灯をLED化した。 ・昨年度と同様に、供覧に院内LANを利用するなど、ペーパーレス化に取り組んだ。 		基本方針 引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化します。 ・引き続き日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。